

WebEx Connect クラウドを使用した Jabber 認証の回避とオンプレミスプレゼンスサーバの代用

内容

[はじめに](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[オプション1](#)

[オプション2](#)

[オプション3](#)

はじめに

このドキュメントでは、認証のために Jabber ユーザがオンプレミスの Instant Messaging and Presence (IM&P) サーバに接続する場合や Mobile and Remote Access (MRA) 用に設定された Expressway (Collaboration Edge) を経由する場合ではなく、WebEx Connect クラウドに直接接続する場合のインスタンスのソリューションについて説明します。

問題

組織のドメインが WebEx Connect クラウドにプロビジョニングされている場合、Jabber クライアントは、デフォルトの動作では WebEx Connect クラウドを使用します。

組織のドメインが WebEx Connect クラウドでプロビジョニングされているかどうかを確認するには、任意の Web ブラウザ (Internet Explorer、Firefox、Safari、Chrome など) に URL を入力します。companydomain.com のドメインを以下のように入力します。

[http://loginp.webexconnect.com/cas/FederatedSSO?org=companydomain.com ...](http://loginp.webexconnect.com/cas/FederatedSSO?org=companydomain.com) (以下を参照)



This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document

```
▼<federatedSSO>
  <title>Connect Client Single Sign On</title>
  <status>FAILURE</status>
  <errorcode>7</errorcode>
  <reason>The org is not allowed to use SSO.</reason>
</federatedSSO>
```

errorcode の 7 は、そのドメインが WebEx Connect クラウドにプロビジョニングされたことを示します。

companydomain.com が WebEx カスタマーではない場合、「SSO プロトコル エラー」を意味する errorcode の 1 になることが予想されます。



```
<federatedSSO>
  <title>Connect Client Single Sign On</title>
  <status>FAILURE</status>
  <errorcode>1</errorcode>
  <reason>SSO protocol error.</reason>
</federatedSSO>
```

この URL は、Jabber for Windows の問題レポートのトレースに表示される URL とまったく同じです (「ドメインは WebexCustomer ですが、WebexSso をサポートしていません」 とも表示されます) 。

解決方法

これを未然に防ぐ最善のオプションは、[WebEx サポート組織を通じて直接に操作し、お客様の組織のドメイン \(companydomain.com など \) を WebEx サポート組織のデータベースから完全に削除することです。](#)ただし、この方法は解決に時間がかかる可能性があります。お客様の組織が WebEx Connect クラウド サービスも使用している場合であっても、IM&P サーバの使用を選択することもできます。

これらは EXCLUDED_SERVICES で WebEx を指定するために使用可能な方法です ([Jabber 導入および設置ガイド](#) のドキュメンテーションを参照) 。

オプション 1

Jabber for Windows クライアントを Microsoft Installer (MSI) を使用してインストールする際、EXCLUDED_SERVICES=WEBEX を使用します。

 注：以前に Jabber for Windows を PC にインストールしている場合は、jabber-bootstrap.properties を最初に削除する必要があります (Windows 7 PC の C:\ProgramData\Cisco Systems\Cisco Jabber から) 。

```
msiexec.exe /i CiscoJabberSetup.msi /quiet CLEAR=1 EXCLUDED_SERVICES=WEBEX
```

詳細な説明については、Jabber の該当するバージョン用のガイドにある、インストール クライ

アントに関する章の[認証の引数を参照してください。](#)

オプション 2

モバイル クライアント向けの任意の Jabber または Jabber for Mac クライアントで、以下の URL へのリンクをクリックします (Web ページから) 。

 注：ユーザがリンクをクリックして必要な設定でJabberアプリケーションを起動する前に、クライアントは最初にアンインストールされ、キャッシュファイルをクリアし、ソフトウェアを起動せずに再インストールできます。

ciscojabber://provision?ServicesDomain=companydomain.com&ServiceDiscoveryExcludedServices=WEBEX

companydomain.com についてこれを実現する HTML コードの例:

```
<HTML>
<BODY>
Mobile and Mac users, please
<A HREF="ciscojabber://provision?ServicesDomain=companydomain.com&VoiceServicesDomain=companydomain.com"
click here</A> from within a browser (such as Safari/Chrome/Firefox) on your mobile.
</BODY>
</HTML>
```

詳細な説明については、Jabber の該当するバージョン用のガイドにある、サービス検出に関する章の[設定 URL を参照してください。](#)

オプション 3

設定ファイルで <ServiceDiscoveryExcludedServices> を使用し、WEBEX を指定します (グループまたはグローバル jabber-config.xml ファイル) 。

 注：この方法は、クライアントが最初にCUCM IM&Pにログインできるかどうかによって異なります。また、jabber-config.xmlをダウンロードしてキャッシュできるようにするために、まずJabberクライアントをオンプレミスで使用し、WebExクラウドサーバとの通信をブロックする必要がある場合もあります。

サービス検出で WebEx を除外する Jabber-config.xml グローバル設定ファイルの例:

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<config version="1.0">
  <Policies>
    <ServiceDiscoveryExcludedServices>WEBEX</ServiceDiscoveryExcludedServices>
  </Policies>
</config>
```

詳細な説明については、Jabber の該当するバージョン用のガイドにある、設定クライアントに関する章の[グローバル構成の作成を参照してください。](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。